

4. 広報媒体の活用状況について

(1) 「広報うつのみや」の閲読状況

◇【読む（計）】は8割を超える

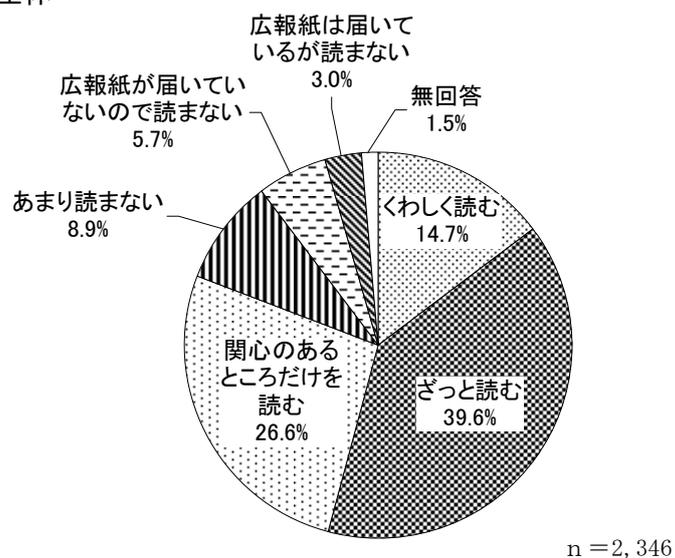
問9 宇都宮市では、毎月1日「広報うつのみや」を新聞折込や送付により、市民の皆様へお届けしています。どの程度「広報うつのみや」を読んでいますか。(○は1つ)		n = 2,346
1	くわしく読む	14.7%
2	ざっと読む	39.6
3	関心のあるところだけを読む	26.6
4	あまり読まない	8.9
5	広報紙が届いていないので読まない	5.7
6	広報紙は届いているが読まない	3.0
	(無回答)	1.5

「広報うつのみや」をどの程度読んでいるか聞いたところ、「くわしく読む」(14.7%)は1割台半ば、「ざっと読む」(39.6%)は約4割、「関心のあるところだけ読む」(26.6%)は3割近くで、この3つを合わせた【読む（計）】(80.9%)は8割を超えている。

一方、「あまり読まない」(8.9%)と「広報紙が届いていないので読まない」(5.7%)、「広報紙は届いているが読まない」(3.0%)の3つを合わせた【読まない（計）】(17.6%)は2割近くである。

(図IV-4-1)

<図IV-4-1>全体

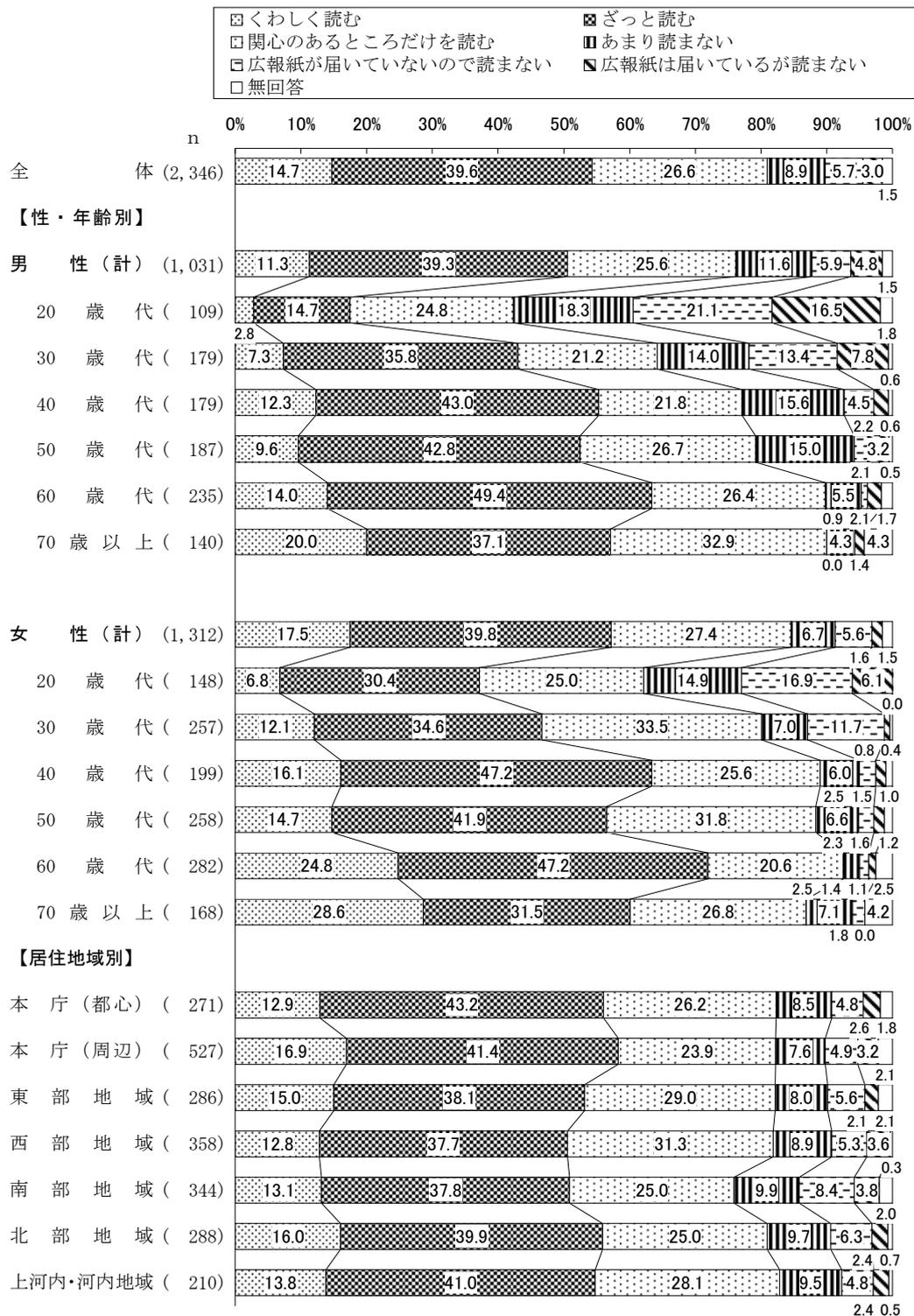


性・年齢別で見ると、【読む（計）】は＜女性/60歳代＞（92.6%）で9割を超え、＜男性/70歳以上＞（90.0%）で9割となっている。一方、【読まない（計）】は＜男性/20歳代＞（55.9%）で5割台半ばとなり、＜女性/20歳代＞（37.9%）で4割近くとなっている。（図IV-4-2）

居住地域別で見ると、【読む（計）】は各地域で8割を超えているが、＜南部地域＞（75.9%）のみ7割台半ばとなっている。一方、【読まない（計）】は＜南部地域＞（22.1%）で2割を超えている。

（図IV-4-2）

＜図IV-4-2＞性・年齢別／居住地域別



(1-1)「広報うつのみや」で読んでいる記事

◇「市政情報」が6割台半ば、次いで「市の施設の催し物情報」「相談窓口」「通常号特集」

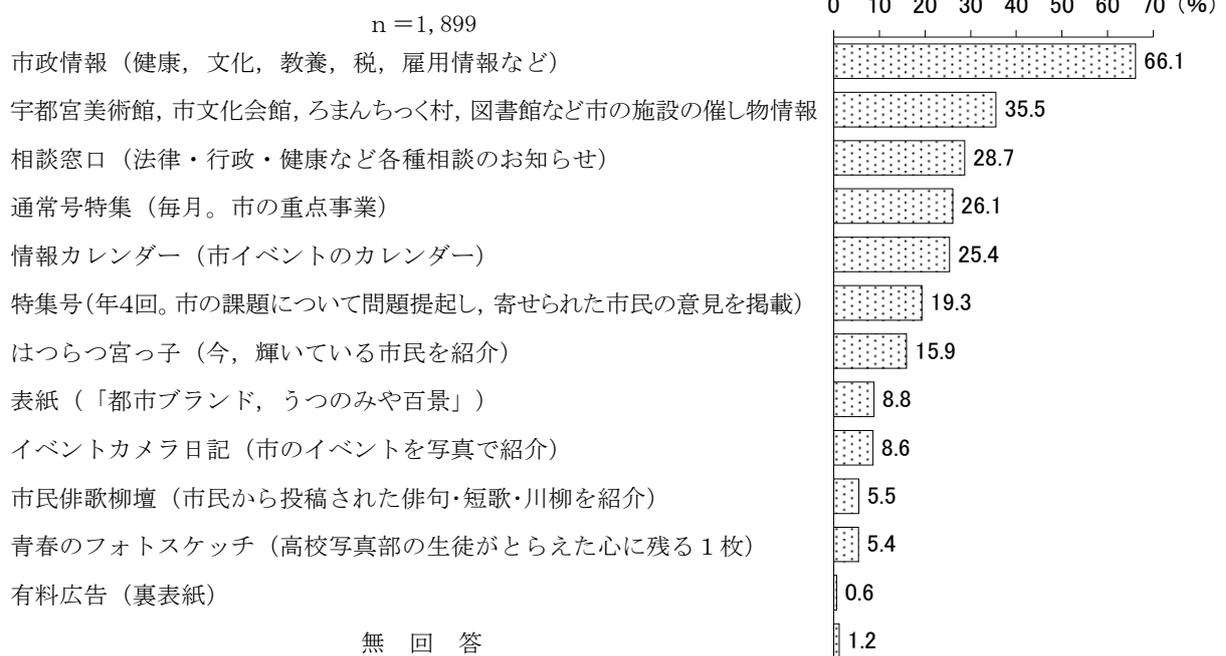
(問9で、「1 くわしく読む」「2 ざっと読む」「3 関心のあるところだけを読む」のいずれかに○をつけた方に)

問9-1 「広報うつのみや」では、次のような記事を掲載しています。いつもどのような記事を主に読んでいますか。(○は3つまで)

	n = 1,899
1 特集号(年4回。市の課題について問題提起し、寄せられた市民の意見を掲載)	19.3%
2 通常号特集(毎月。市の重点事業)	26.1
3 市政情報(健康、文化、教養、税、雇用情報など)	66.1
4 表紙(「都市ブランド、うつのみや百景」)	8.8
5 イベントカメラ日記(市のイベントを写真で紹介)	8.6
6 青春のフォトスケッチ(高校写真部の生徒がとらえた心に残る1枚)	5.4
7 はつらつ宮っ子(今、輝いている市民を紹介)	15.9
8 相談窓口(法律・行政・健康など各種相談のお知らせ)	28.7
9 市民俳歌柳壇(市民から投稿された俳句・短歌・川柳を紹介)	5.5
10 宇都宮美術館、市文化会館、ろまんちっく村、図書館など市の施設の催し物情報	35.5
11 情報カレンダー(市イベントのカレンダー)	25.4
12 有料広告(裏表紙)	0.6
(無回答)	1.2

問9で、「広報うつのみや」を読んでいると答えた人(1,899人)に、主にどの記事を読んでいるか聞いたところ、「市政情報(健康、文化、教養、税、雇用情報など)」(66.1%)が6割台半ばで最も高く、次いで「宇都宮美術館、市文化会館、ろまんちっく村、図書館など市の施設の催し物情報」(35.5%)、「相談窓口(法律・行政・健康など各種相談のお知らせ)」(28.7%)、「通常号特集(毎月。市の重点事業)」(26.1%)、「情報カレンダー(市イベントのカレンダー)」(25.4%)などの順となっている。(図IV-4-3)

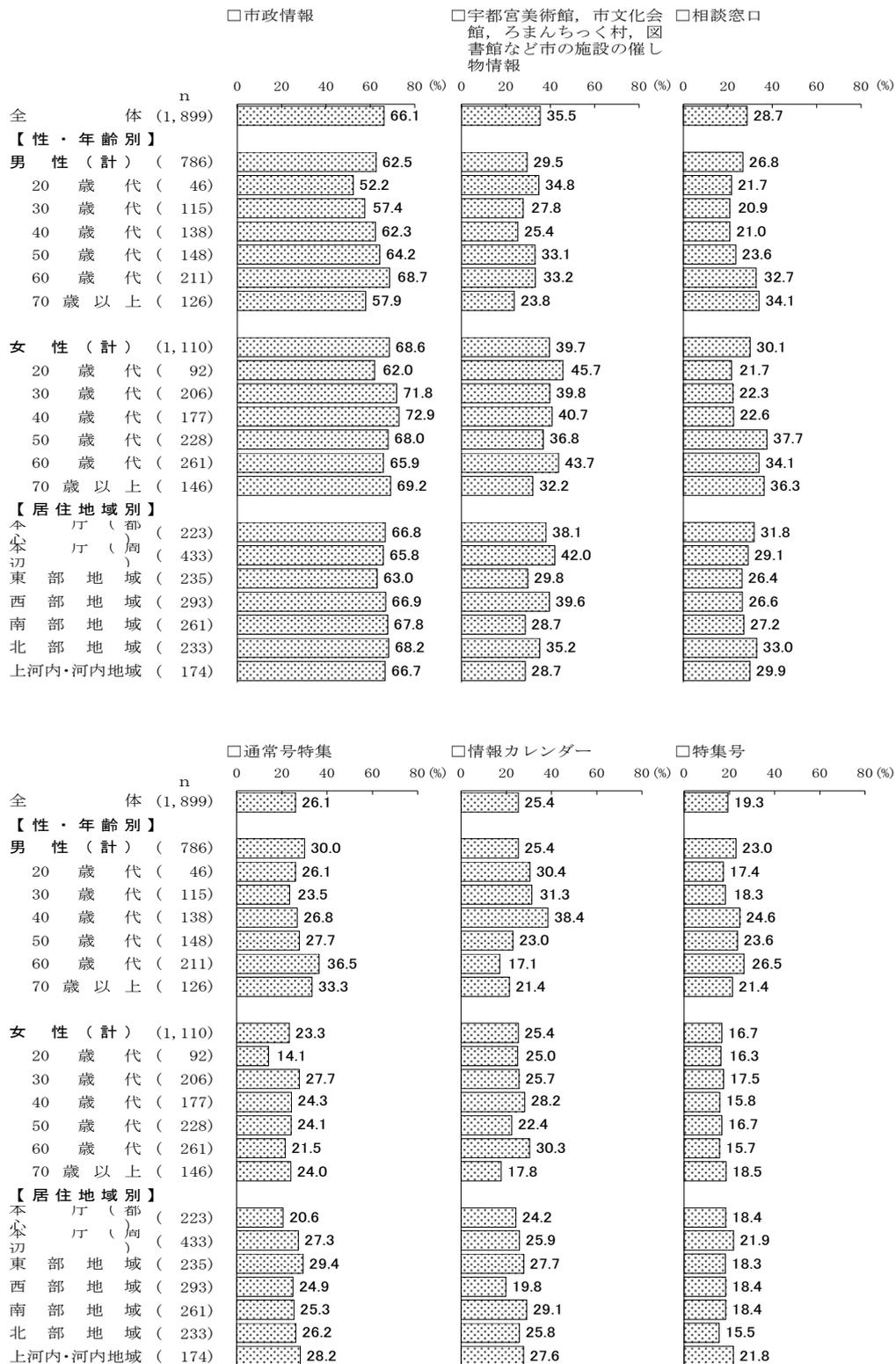
<図IV-4-3>全体



性・年齢別で見ると、「市政情報」は＜女性/30歳代～40歳代＞で7割を超え、＜男性/60歳代＞（68.7%）で7割近くとなっている。「宇都宮美術館，市文化会館，ろまんちっく村，図書館など市の施設の催し物情報」は＜女性/20歳代＞（45.7%）で4割台半ばとなっている。（図IV-4-4）

居住地域別で見ると、「市政情報」は各地域で6割台となり、「宇都宮美術館，市文化会館，ろまんちっく村，図書館など市の施設の催し物情報」は＜本庁（周辺）＞（42.0%）で4割を超えている。（図IV-4-4）

＜図IV-4-4＞性・年齢別／居住地域別



(2) 「広報うつのみや」で充実してほしい情報

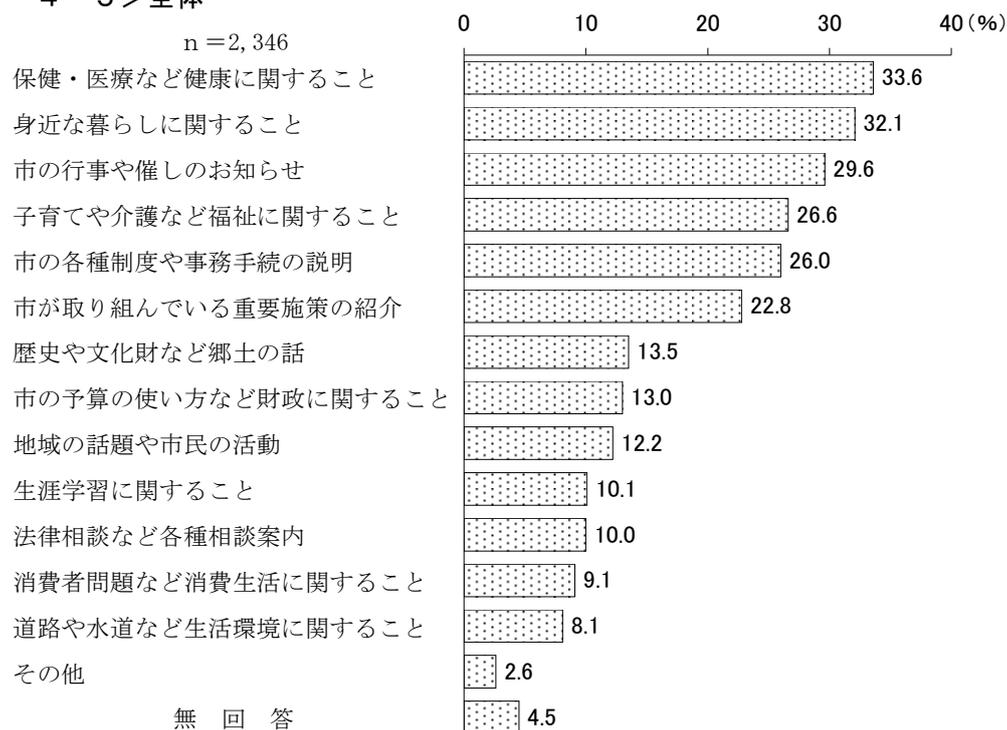
◇「保健・医療など健康に関すること」「身近な暮らしに関すること」が3割を超える

問10 今後、「広報うつのみや」で取り上げてほしい、または充実してほしい情報はどのような情報ですか。(〇は3つまで)

	n = 2,346
1 市が取り組んでいる重要施策の紹介	22.8%
2 市の各種制度や事務手続の説明	26.0
3 市の行事や催しのお知らせ	29.6
4 地域の話題や市民の活動	12.2
5 歴史や文化財など郷土の話	13.5
6 法律相談など各種相談案内	10.0
7 生涯学習に関すること	10.1
8 保健・医療など健康に関すること	33.6
9 子育てや介護など福祉に関すること	26.6
10 消費者問題など消費生活に関すること	9.1
11 道路や水道など生活環境に関すること	8.1
12 身近な暮らしに関すること	32.1
13 市の予算の使い方など財政に関すること	13.0
14 その他 (無回答)	2.6 4.5

今後、「広報うつのみや」で取り上げてほしい、または充実してほしい情報を聞いたところ、「保健・医療など健康に関すること」(33.6%)と「身近な暮らしに関すること」(32.1%)が3割を超えて高く、次いで「市の行事や催しのお知らせ」(29.6%)、「子育てや介護など福祉に関すること」(26.6%)、「市の各種制度や事務手続の説明」(26.0%)などの順となっている。(図IV-4-5)

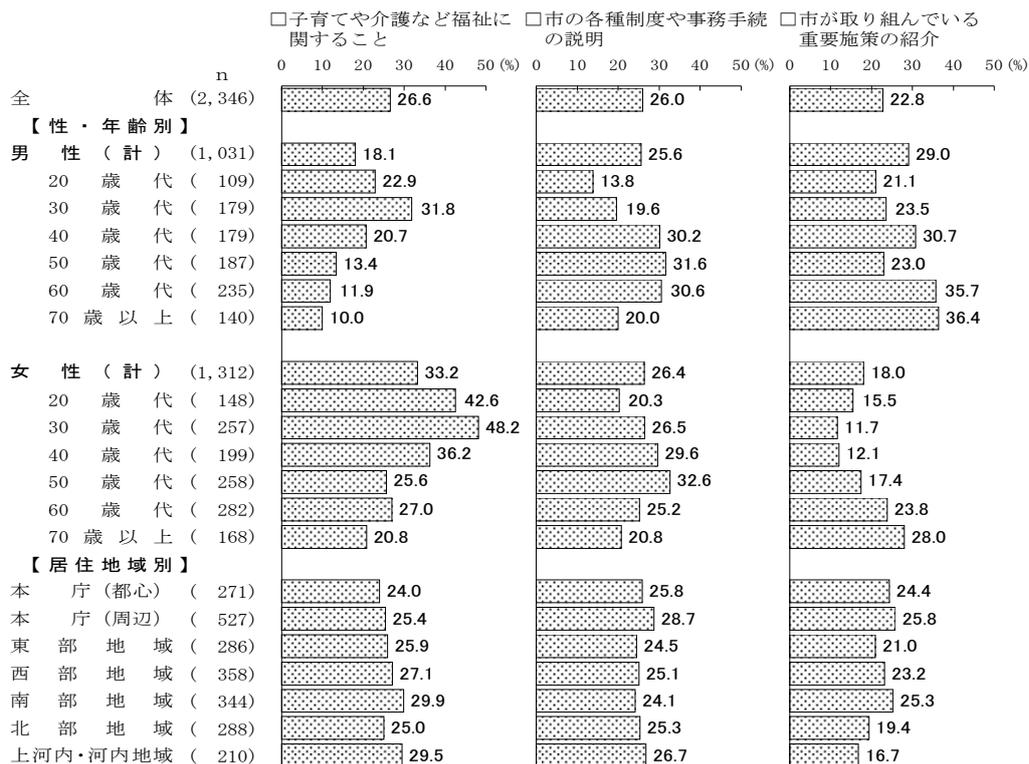
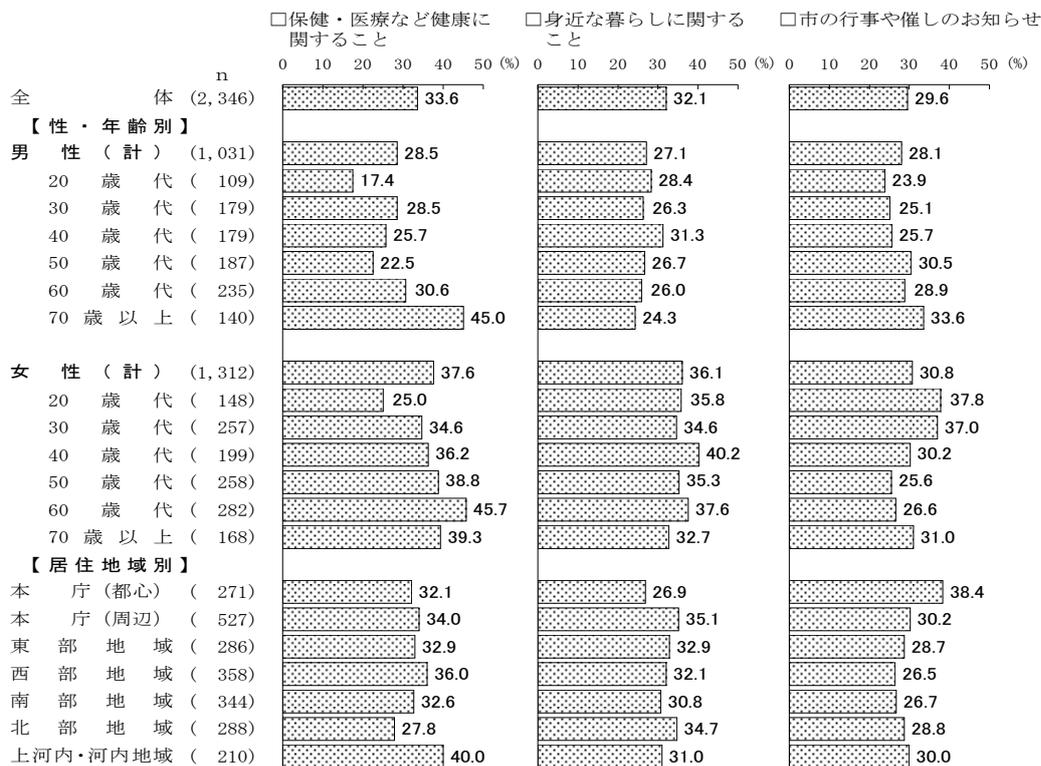
<図IV-4-5>全体



性・年齢別で見ると、「保健・医療など健康に関すること」は＜女性/60歳代＞（45.7%）、＜男性/70歳以上＞（45.0%）で4割台半ばとなっている。「身近な暮らしに関すること」は＜女性/40歳代＞（40.2%）で4割を超え、＜男性/40歳代＞（31.3%）で3割を超えている。（図IV-4-6）

居住地域別で見ると、「保健・医療など健康に関すること」は＜上河内・河内地域＞（40.0%）で4割となり、「身近な暮らしに関すること」は各地域で3割を超えているが、＜本庁（都心）＞（26.9%）のみ2割台半ばとなっている。（図IV-4-6）

＜図IV-4-6＞性・年齢別／居住地域別



(3) 市政情報の各広報媒体の視聴状況

◇【見た（聞いた）ことがある（計）】は宇都宮市ホームページで3割近く

問 11 宇都宮市では、広報紙のほかにも次のような手段を使って、市政情報を市民の皆様にご提供しています。次の各広報媒体について、視聴状況のあてはまる番号に○をつけてください。

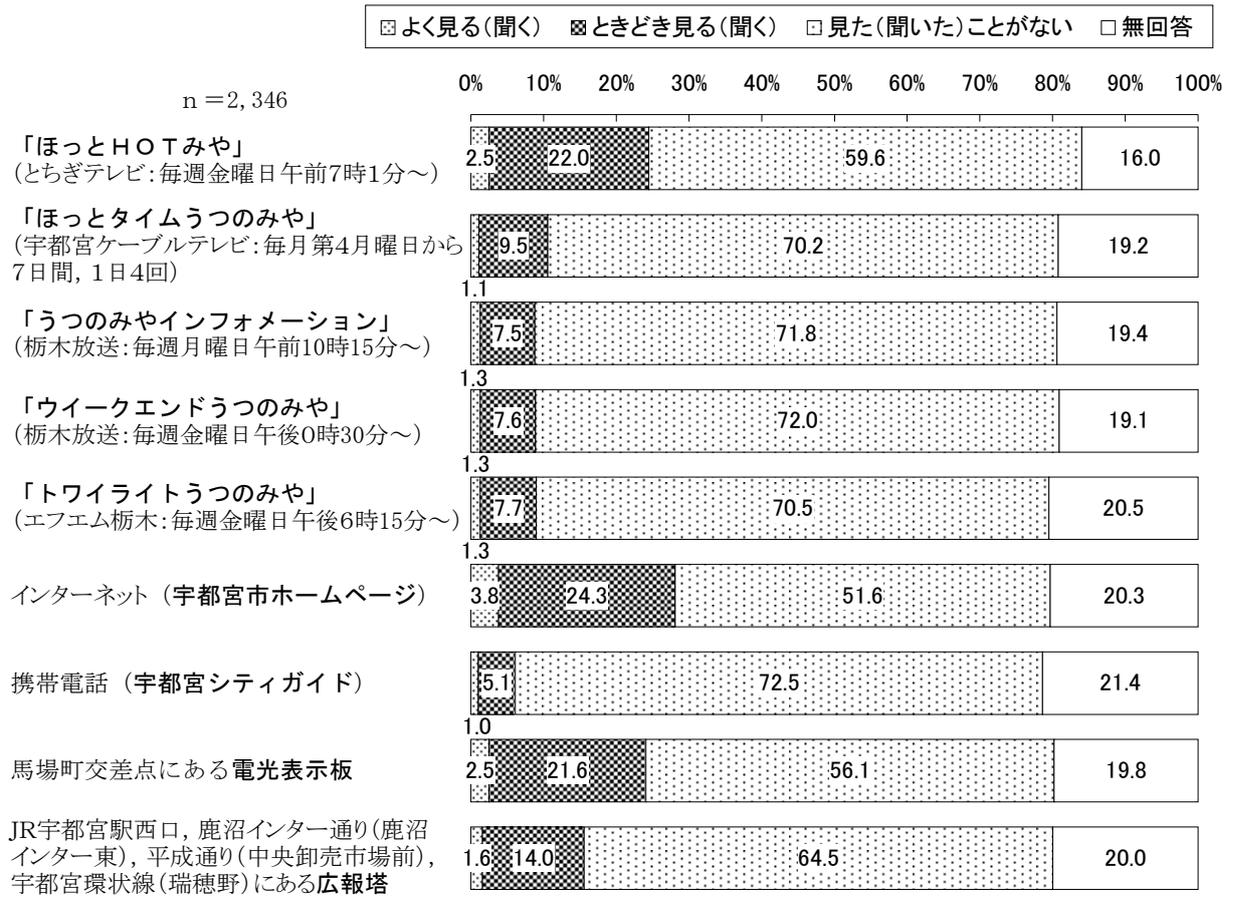
n = 2,346

広 報 媒 体		よく見る(聞く)	ときどき見る(聞く)	見た(聞いた)ことがない	(無回答)
テレビ番組	「ほっとHOTみや」 (とちぎテレビ：毎週金曜日午前7時1分～)	2.5	22.0	59.6	16.0
	「ほっとタイムうつのみや」 (宇都宮ケーブルテレビ：毎月第4月曜日から7日間，1日4回)	1.1	9.5	70.2	19.2
ラジオ番組	「うつのみやインフォメーション」 (栃木放送：毎週月曜日午前10時15分～)	1.3	7.5	71.8	19.4
	「ウィークエンドうつのみや」 (栃木放送：毎週金曜日午後0時30分～)	1.3	7.6	72.0	19.1
	「トワイライトうつのみや」 (エフエム栃木：毎週金曜日午後6時15分～)	1.3	7.7	70.5	20.5
その他	インターネット（宇都宮市ホームページ）	3.8	24.3	51.6	20.3
	携帯電話（宇都宮シティガイド）	1.0	5.1	72.5	21.4
	馬場町交差点にある電光表示板	2.5	21.6	56.1	19.8
	J R宇都宮駅西口，鹿沼インター通り（鹿沼インター東），平成通り（中央卸売市場前），宇都宮環状線（瑞穂野）にある 広報塔	1.6	14.0	64.5	20.0

広報紙以外の9つの広報媒体について、それぞれどの程度視聴しているか聞いたところ、「よく見る（聞く）」と「ときどき見る（聞く）」の2つを合わせた【見た（聞いた）ことがある（計）】は、“インターネット（宇都宮市ホームページ）”（28.1%）で3割近くと最も高く、次いで“「ほっとHOTみや」”（24.5%），“馬場町交差点にある電光表示板”（24.1%），“J R宇都宮駅西口，鹿沼インター通り，平成通り，宇都宮環状線にある広報塔”（15.6%）などの順となっている。

(図IV-4-7)

<図IV-4-7>全体



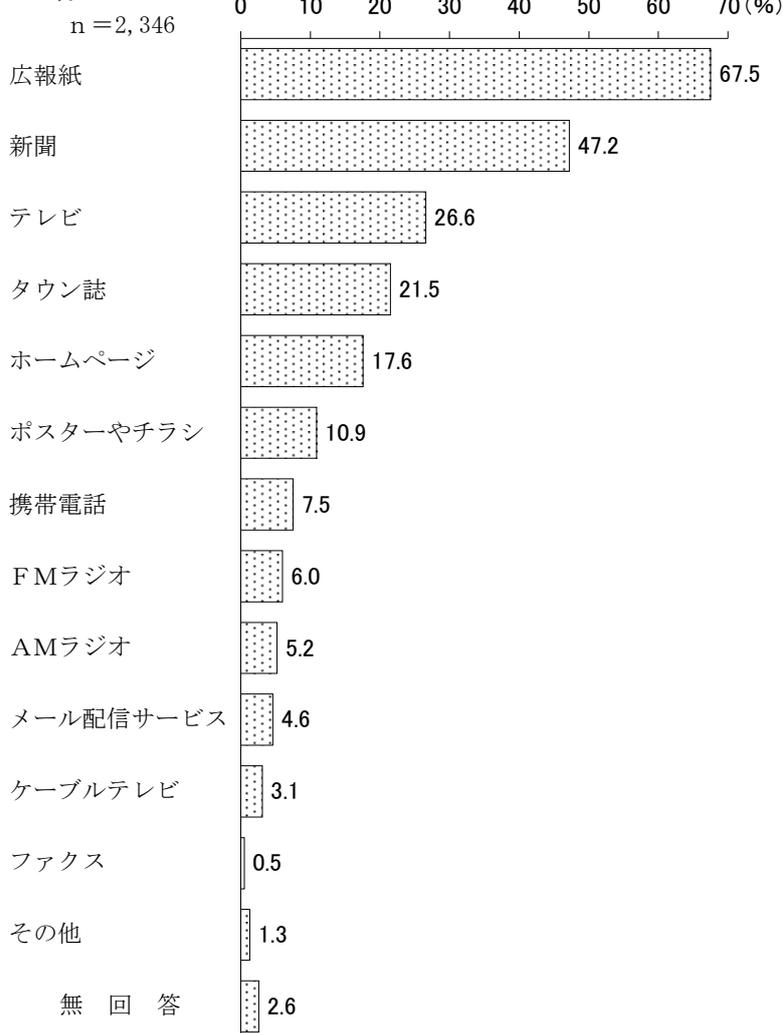
(4) 市政情報を得るために利用したい手段

◇「広報紙」が7割近く、「新聞」が5割近くで、「テレビ」「タウン誌」が2割台

問 12 今後、市政に関する情報をどんな手段で知りたいですか。(○は3つまで)				n = 2,346	
1	広報紙	67.5%	8	ファクス	0.5%
2	テレビ	26.6	9	新聞	47.2
3	ケーブルテレビ	3.1	10	タウン誌	21.5
4	AMラジオ	5.2	11	ポスターやチラシ	10.9
5	FMラジオ	6.0	12	メール配信サービス	4.6
6	ホームページ	17.6	13	その他	1.3
7	携帯電話	7.5		(無回答)	2.6

今後、市政に関する情報をどのような手段で知りたいか聞いたところ、「広報紙」(67.5%)が7割近くで最も高く、次いで「新聞」(47.2%)、「テレビ」(26.6%)、「タウン誌」(21.5%)、「ホームページ」(17.6%)などの順となっている。(図IV-4-8)

<図IV-4-8>全体



性・年齢別で見ると、「広報紙」は＜女性/60歳代＞（82.3%）で8割を超え、＜男性/60歳代～70歳以上＞で8割近くとなっている。「新聞」は＜男性/70歳以上＞（72.9%）、＜女性/70歳以上＞（70.2%）で7割を超えている。（図IV-4-9）

居住地域別で見ると、「広報紙」は＜上河内・河内地域＞（72.9%）で7割を超え、「新聞」は＜西部地域＞（51.4%）で5割を超えている。（図IV-4-9）

＜図IV-4-9＞性・年齢別／居住地域別

